

長野原町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (17年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 16年度の人件費率
17年度	人 6,686	千円 7,566,118	千円 288,217	千円 900,891	% 11.9	% 13.0

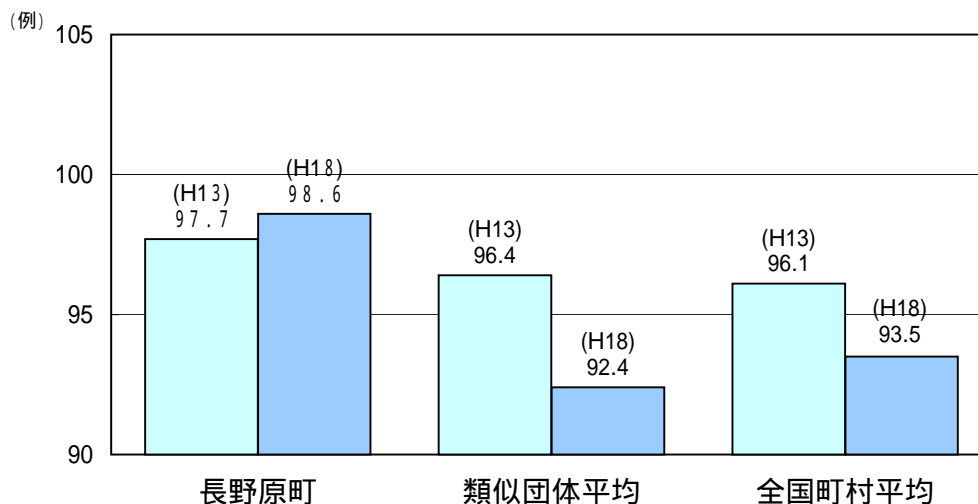
(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
17年度	人 100	千円 389,070	千円 71,960	千円 158,725	千円 619,755	千円 6,198	千円 5916

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、17年4月1日現在の人数である。

(3) 特記事項

(4) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



(注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数である。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

(5) 給与改定の状況

月例給

区分	人事委員会の勧告				給与改定率	(参考) 国の改定率
	民間給与 A	公務員給与 B	較差 A-B	勧告 (改定率)		
年度	円	円	円 (%)	%	%	0

(注)「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレース比較した平均給与月額である。

特別給

区分	人事委員会の勧告				年間支給月数	(参考) 国の年間 支給月数
	民間の支給 割合 A	公務員の 支給月数 B	較差 A-B	勧告 (改定月数)		
年度	月	月	月	月	月	4.45月

(注)「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(18年4月1日現在)

一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
長野原町	43.1 歳	344,366 円	390,874 円	386,379 円
群馬県	43.4 歳	363,177 円	427,752 円	390,342 円
国	40.4 歳	328,477 円		381,212 円
類似団体	43.1 歳	327,954 円	371,839 円	358,589 円

技能労務職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
長野原町	51.6 歳	315,509 円	327,700 円	326,681 円
うち 用務員	52.9 歳	321,225 円	326,487 円	322,137 円
うち 運転手	48.1 歳	327,400 円	360,600 円	335,383 円
うち 学校給食員	47.0 歳	286,700 円	316,100 円	311,900 円
群馬県	46.1 歳	320,117 円	347,086 円	335,723 円
国	48.4 歳	286,500 円		318,595 円
類似団体	47.8 歳	276,843 円	298,837 円	291,599 円
民間事業者平均	48.8 歳		339,242 円	

教育職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
長野原町	36.4 歳	278,360 円	302,720 円
群馬県	43.6 歳	402,303 円	445,339 円
類似団体	42.4 歳	321,519 円	343,020 円

職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
市	歳	円	円	円
県	歳	円	円	円
国	歳	円	円	円
類似団体	歳	円	円	円

(注) 1 「平均給料月額」とは、18年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものである。

(2) 職員の初任給の状況(18年4月1日現在)

区 分		長野原町	群馬県	国
一般行政職	大学卒	170200 円	170200 円	170200 円
	高校卒	138400 円	138400 円	138400 円
技能労務職	高校卒	138400 円	138400 円	-
	中学卒	円	円	-
教育職	大学卒	170200 円	170200 円	-
	高校卒	138400 円	138400 円	-
職	大学卒	円	円	-
	高校卒	円	円	-

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(18年4月1日現在)

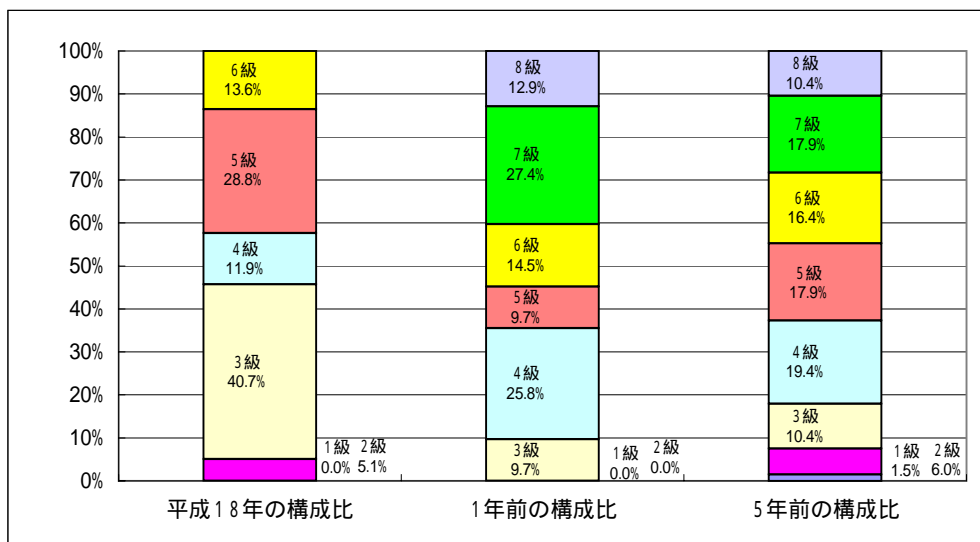
区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	252,600 円	290,600 円	324,100 円
	高校卒	205,000 円	252,600 円	290,600 円
技能労務職	高校卒	205,000 円	242,100 円	283,200 円
	中学卒	円	円	円
教育職	大学卒	252,600 円	290,600 円	324,100 円
	高校卒	205,000 円	252,600 円	290,600 円
職	大学卒	円	円	円
	高校卒	円	円	円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（18年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事	0人	0.0%
2級	主事	3人	5.1%
3級	主任	24人	40.7%
4級	副主幹	7人	11.9%
5級	主幹	17人	28.8%
6級	課長	8人	13.6%

- (注) 1 長野原町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(注) 平成18年に8級制から6級制に変更している。(旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ統合)

(2) 昇給期間短縮の状況 (該当ありません)

区 分		全 職 種
年度	職 員 数	人
	A	
	普通昇給期間(12~24月)を短縮して昇給した職員数	人
年度	比 率	%
	B / A	
	職 員 数	人
年度	A	
	普通昇給期間(12~24月)を短縮して昇給した職員数	人
	B	
年度	比 率	%
	B / A	

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

長野原町		群馬県		国	
1人当たり平均支給額(17年度) 807 千円		1人当たり平均支給額(17年度) 1880 千円			
(17年度支給割合)		(17年度支給割合)		(年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
3 月分	1.4 月分	3.05 月分	1.4 月分	月分	月分
()月分	()月分	()月分	()月分	()月分	()月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置		職制上の段階、職務の級等による加算措置		職制上の段階、職務の級等による加算措置	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

(2) 退職手当(18年4月1日現在)

長野原町			国		
(支給率)	自己都合	勤奨・定年	(支給率)	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	23.50 月分	30.55 月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	33.50 月分	41.34 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置 定年前早期退職特別措置			その他の加算措置		
(退職時特別昇給)					
1人当たり平均支給額 千円15,534 千円					

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、17年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当

(年 4 月 1 日現在) (該当ありません)

支給実績(年度決算)		千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(年度決算)		円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%

(2 2 年度の制度完成時)

支給対象地域	支給率	国の制度(支給率)
	%	%
	%	%
	%	%
	%	%
	%	%

(注) 国の制度では、平成22年度での完成を目指して、平成18年度から支給率を段階的に引き上げることとしている。

(4) 特殊勤務手当 (1 8 年 4 月 1 日現在)

支給実績(17年度決算)	16,856 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(17年度決算)	15,754 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(17年度)	10.8 %		
手当の種類(手当数)(医師に係るもの以外は22年度まで支給凍結)	8		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
税務手当	業務従事職員	町税の賦課及び徴収等	日額 500円
感染症及び家畜伝染病作業手当	作業従事職員	病菌の防疫作業等	日額 300円
診療所医師医療技術手当	診療所医師	診療業務等	月額 100,000円
診療所医師往診手当	診療所医師	往診業務	月額 40,000円
放射線取扱手当	取扱従事職員	放射線取扱業務の助手	日額 300円
国土調査業務手当	国土調査業務従事職員	長狭物調査及び一筆調査	日額 300円
用地交渉業務手当	用地交渉業務従事職員	用地交渉業務	日額 300円
塩素取扱業務手当	塩素取扱業務従事職員	塩素取扱業務	日額 300円

(5) 時間外勤務手当

支給実績 (16年度決算)	5,223 千円
職員1人当たり平均支給年額 (16年度決算)	84 千円
支給実績 (17年度決算)	3,352 千円
職員1人当たり平均支給年額 (17年度決算)	57 千円

(6) その他の手当 (18年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (17年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (17年度決算)
扶養手当	配偶者130百円 他	同		1,333 千円	22,600 円
住居手当	借家27千円限度 新築25百円を5年	同		157 千円	10,500 円
通勤手当	通勤距離に応じて2千円～24千円を支給	異	上限209百円	725 千円	9,800 円
管理職手当	6% 8% 10%	異	8% 10% 12%	1,723 千円	32,500 円
休日勤務手当	135 / 100 (振替休)	同		0 千円	0 円
産業教育手当	-			千円	円

5 特別職の報酬等の状況 (18年4月1日現在)

区分	給料	月額	額	等
給料	市区町村長	600,000 円	(参考)類似団体における最高/最低額	
	助役	499,200 円	870,000 円 /	383,000 円
	収入役	470,400 円	710,000 円 /	401,000 円
報酬	議長	220,000 円	640,000 円 /	380,000 円
	副議長	180,000 円	370,000 円 /	192,400 円
	議員	160,000 円	320,000 円 /	131,900 円
期末手当	市区町村長	(17年度支給割合)		
	助役 収入役	4.4	月分	
退職手当	議長	(17年度支給割合)		
	副議長 議員	4.4	月分	
備考	市区町村長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	助役	在職年方式	12480000	任期毎
	収入役	在職年方式	5990400	任期毎
	収入役	在職年方式	5080320	任期毎

- (注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

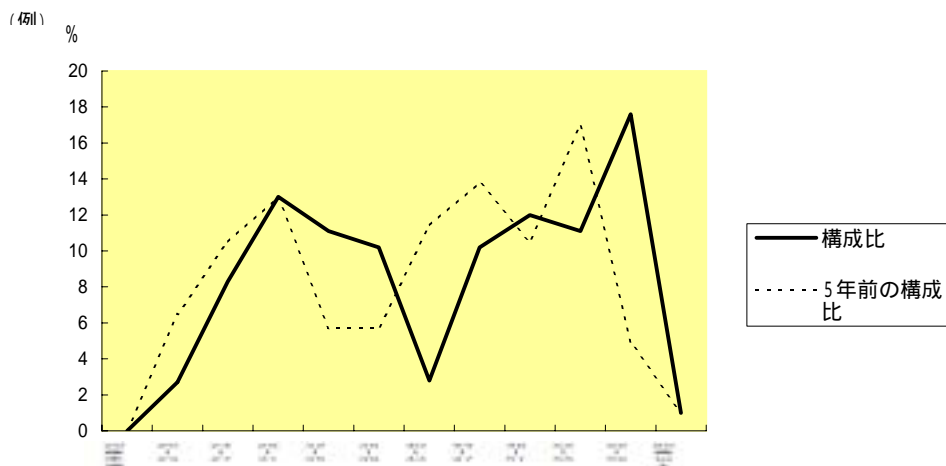
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

区 分		職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由
		平成17年	平成18年		
普通会計部門	一般行政部門	34	33	1	退職者不補充 1
	議会・総務・税務	19	19		
	農林・商工・土木	12	13	1	新規事業に伴う増1
	民生・衛生				
	計	65	65		<参考> 人口1,000人当たり職員数 9.7 人 (類似団体の人口1,000人当たり職員数 10.3 人)
	教育部門	36	33	3	退職者不補充 3
	小 計	36	33	3	<参考> 人口1,000人当たり職員数 4.9 人 (類似団体の人口1,000人当たり職員数 13.1 人)
公営企業会計等部門	水道	6	4	2	退職者不補充 1 業務移管 1
	下水道	2	3	1	業務移管に伴う増1
	その他	4	3	1	退職者不補充 1
	小 計	12	10	2	
合 計		113	108	5	<参考> 人口1,000人当たり職員数 16.1 人

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況(18年4月1日現在)



区 分	20歳 未満	20歳 ～ 23歳	24歳 ～ 27歳	28歳 ～ 31歳	32歳 ～ 35歳	36歳 ～ 39歳	40歳 ～ 43歳	44歳 ～ 47歳	48歳 ～ 51歳	52歳 ～ 55歳	56歳 ～ 59歳	60歳 以上	計
職員数	0 人	3 人	9 人	14 人	12 人	11 人	3 人	11 人	13 人	12 人	19 人	1 人	108 人

(3)定員管理の数値目標及び進捗状況

平成17年4月1日～平成22年4月1日における定員管理の数値目標

平成17年4月1日 職員数	平成22年4月1日 職員数	純減数	純減率
人 113	人 93	人 20	% 17.7

(参考)長野原町集中改革プランにおける定員管理の数値目標(数・率)

計画期間		数値目標
始期	終期	
平成17年4月1日	平成22年4月1日	20人削減

定員管理の数値目標の年次別進捗状況(実績)の概要

(各年4月1日現在)

部 門	区 分	17年	18年	年	年	17年～18年	(参考)
		計画始期	1年目	年 目	年 目	計	数値目標
一般行政	職員数	65	65				
	増減					(%)	
教 育	職員数	36	33				
	増減		3			(%)	
消 防	職員数						
	増減					(%)	
公 営 企 業 等 会 計	職員数	12	10				
	増減		2			(%)	
計	職員数	113	108				93
	増減		5			-25%	

- (注) 1 計画期間は、17年～22年の5年間である。
 2 (%)内の数値は、数値目標に対する進捗率を示す。
 3 増減は、各年の欄にあっては対前年比の職員増減数を、計の欄にあっては計画1年目以降現年までの職員増減数の累計を示す。